

第2編

上十三地域における検討

1 . 現状把握と課題抽出

対象地域

本業務では上十三地域の2市7町村を対象とする。



図 調査対象地域位置

1 - 1 上十三地域の現状把握

1) 社会動向

人口動向

- ・上十三地域の人口はH17年に減少に転じ、30年後には人口が3割減少すると予測されている。平成47年の推計人口は167千人で昭和20年代と同等程度の人口規模まで減少する。
- ・昭和60年から平成17年までの20年間で高齢化率が約2倍以上に増加し、急激に高齢化が進んでいる。

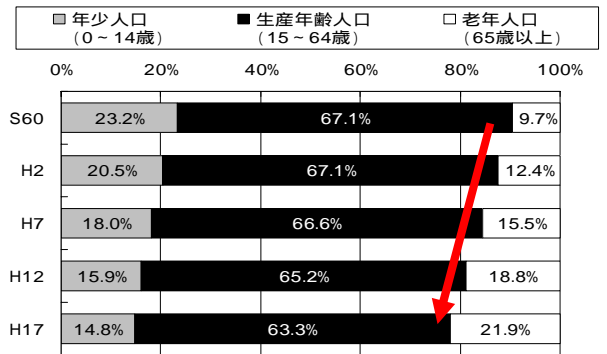
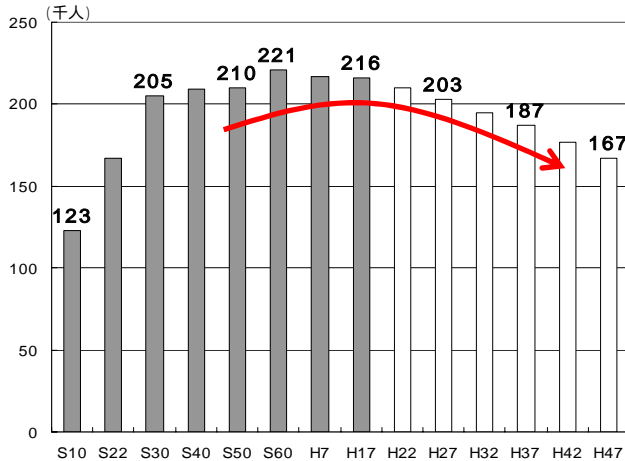


図 高齢化率の推移 (資料：国勢調査)

図 人口推移 (資料：国勢調査、人口問題研究所 日本の市区町村別将来推計人口 (平成20年12月推計))

表 人口推移

	総人口(人)						
	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
十和田市	68,359	66,623	64,563	62,073	59,188	56,031	52,699
三沢市	42,425	41,895	41,077	39,972	38,712	37,336	35,856
野辺地町	15,218	14,405	13,596	12,743	11,833	10,921	10,020
七戸町	18,471	17,514	16,531	15,464	14,379	13,281	12,197
六戸町	10,430	10,205	9,826	9,384	8,910	8,417	7,902
横浜町	5,097	4,709	4,349	3,969	3,583	3,222	2,888
東北町	20,016	19,264	18,381	17,392	16,370	15,365	14,335
六ヶ所村	11,401	10,893	10,379	9,849	9,317	8,786	8,229
おいらせ町	24,172	24,642	24,739	24,651	24,406	24,031	23,504
合計	215,589	210,150	203,441	195,497	186,698	177,390	167,630

(資料：人口問題研究所 日本の市区町村別将来推計人口 (平成20年12月推計))

表 高齢化率の推移

	高齢化率						
	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
十和田市	21.3%	24.4%	29.2%	33.0%	35.2%	36.8%	38.4%
三沢市	18.1%	20.1%	22.9%	25.6%	27.3%	28.6%	30.5%
野辺地町	25.3%	29.3%	34.1%	38.7%	41.9%	43.6%	44.7%
七戸町	26.5%	29.2%	33.8%	38.1%	40.3%	41.4%	42.2%
六戸町	26.4%	29.4%	33.8%	38.6%	41.4%	42.9%	44.6%
横浜町	28.4%	31.5%	36.2%	40.1%	41.5%	42.1%	44.0%
東北町	26.3%	29.2%	33.5%	37.3%	39.9%	41.4%	42.6%
六ヶ所村	18.9%	20.0%	22.6%	25.7%	27.4%	28.6%	29.5%
おいらせ町	18.5%	20.4%	24.0%	27.5%	29.6%	31.3%	33.2%
合計	21.9%	24.4%	28.4%	32.0%	34.1%	35.5%	36.9%

(資料：人口問題研究所 日本の市区町村別将来推計人口 (平成20年12月推計))

産業動向

- ・上十三地域の産業別就業割合をみると、第一次産業の就業割合が比較的高い。特に、東北町や横浜町、六戸町などでは第一次産業の就業者数が2割を超えている。
- ・主な産業の規模をみると下表のとおりである。七戸町、東北町等では農業算出額と製造品出荷額等がほぼ同規模となっており、農業が基幹産業となっていることが伺える。
- ・小売業の年間商品販売額では十和田市が最も多い。次いで三沢市、おいらせ町となっている。

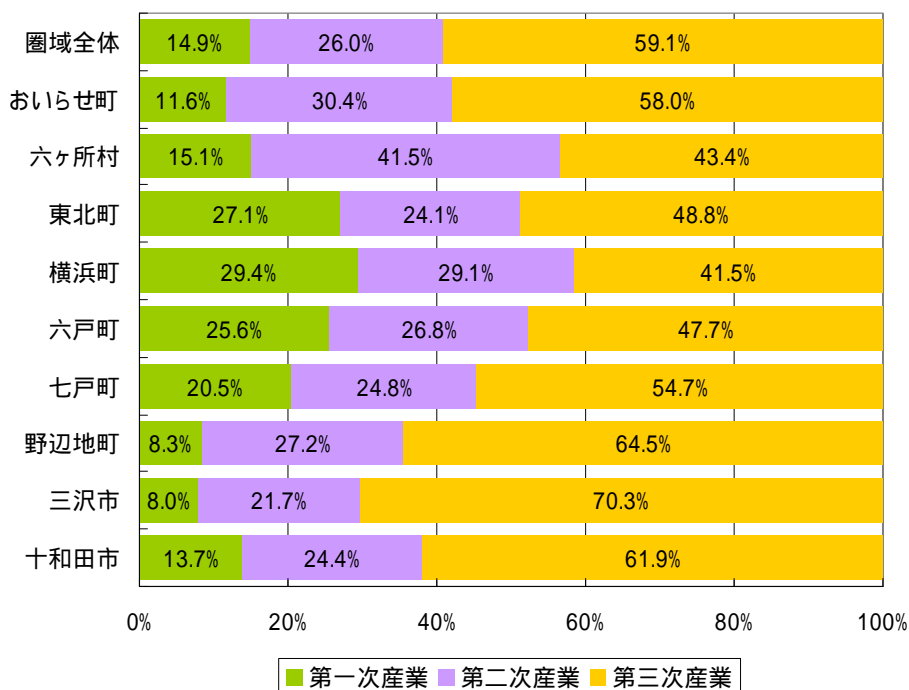


図 産業別就業割合
(資料：H17国勢調査)

表 主な産業の出荷額等

	農業産出額 (百万円)	製造品出荷額等 (百万円)	小売業 年間商品販売額 (百万円)
十和田市	17,460	56,472	82,289
三沢市	14,180	56,620	37,326
野辺地町	900	7,175	13,857
七戸町	6,450	6,721	13,561
六戸町	7,890	7,193	4,485
横浜町	9,740	11,925	2,988
東北町	13,760	8,214	11,921
六ヶ所村	5,450	330,443	6,398
おいらせ町	8,480	36,783	32,514

(資料：H18生産農業所得統計 H19工業統計 H19商業統計年報)

2) 土地利用動向

人口分布

- ・ D I Dを有する3市町ともD I D人口密度が減少し、低密度な市街地が拡大している。
- ・ 9市町村の地域別人口割合をみると、用途地域外に3～7割の人口が居住している。特に、おいらせ町、六戸町、東北町は用途地域外に7割以上の人口が居住している。

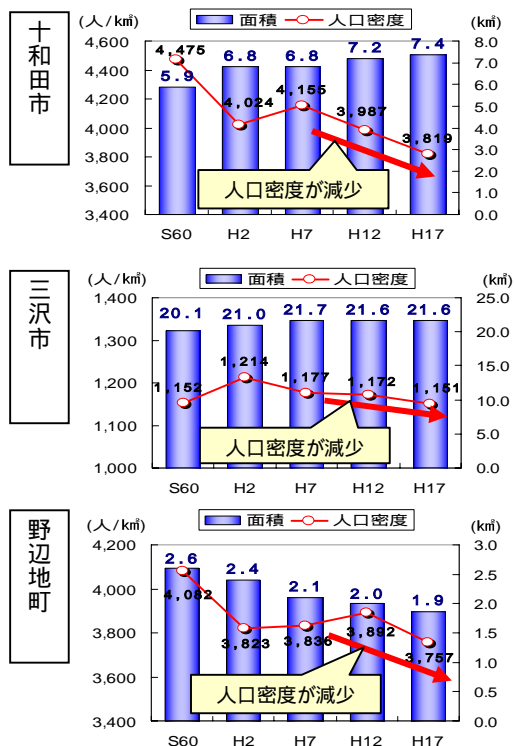


図 市町村別D I Dの推移
(資料：国勢調査)

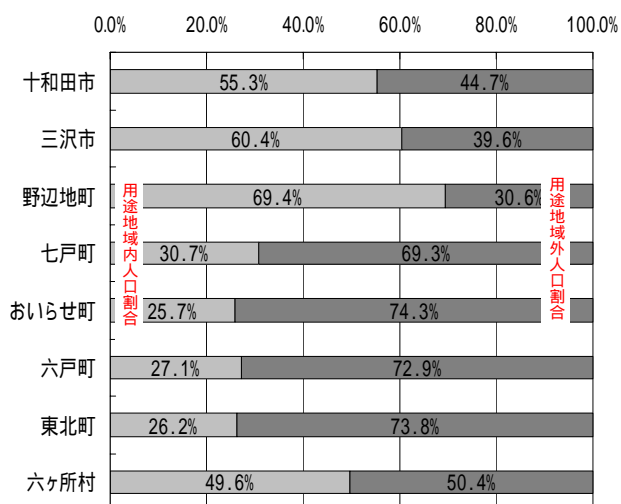


図 市町村別都市計画区域の人口割合
(資料：H18 青森県の都市計画(資料編))

土地利用規制

- ・上十三地域で区域区分が行われているのは、六ヶ所村、おいらせ町の2町村のみであり、大半の市町村が土地利用規制の緩やかな都市計画区域となっている。
- ・また、農業が基幹産業となっている当地域では、用途地域を取り囲むように農用地が広がっている現状がうかがえる。
- ・三沢市は準工業地域の大規模集客施設の立地規制を指定しており、青森県内では青森市に次いで二番目の取り組みとなっている。

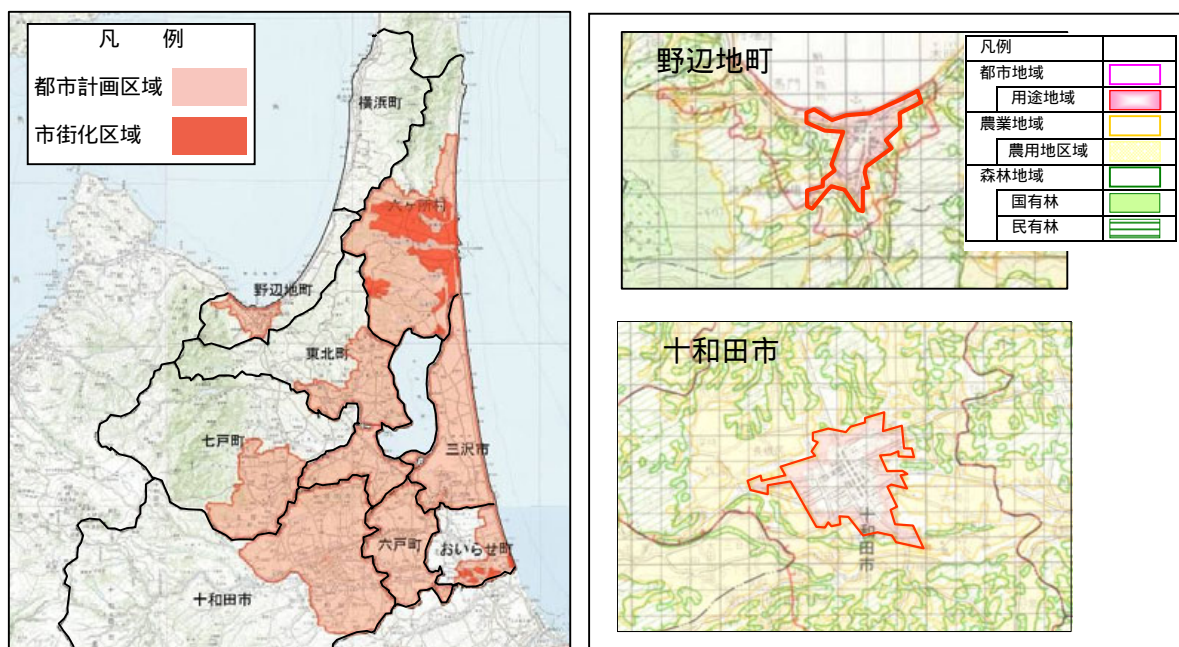


図 土地利用規制の状況

表 都市計画区域の状況

区域区分の有無	市町村名	都市計画区域		市街化区域
		範囲 (行政区域の)	都市計画区域 面積	市街化区域 面積
区域区分	おいらせ町	一部	3,292	307
	六ヶ所村	一部	19,010	4,856
非線引き	十和田市	一部	17,344	
	三沢市	全域	11,997	
	野辺地町	一部	1,570	
	七戸町	一部	7,545	
	六戸町	全域	8,406	
	東北町	一部	7,216	

(資料：平成20年都市計画年報)

表 青森県内の特別用途地区の指定状況

都市計画区域名	都市名	種類	面積	決定年月日	用途地域
青森	青森市	大規模集客施設制限地区	820ha	H18.10.1	準工業地域
浪岡		大規模集客施設制限地区	26ha	H19.2.19	準工業地域
弘前広域	弘前市	特別業務地区	13.7ha	S48.12.1	第二種住居地域
三沢	三沢市	大規模集客施設制限地区	34.0ha	H19.3.30	準工業地域

(資料：平成20年都市計画年報)

市街地整備事業の状況

- ・上十三地域における土地区画整理事業は三沢市とおいらせ町の 2 市町のみとなっている。特に、三沢市では昭和 20 年代から市街地を土地区画整理事業により整備しており、現在は中心市街地の再生に向けた土地区画整理事業が行われている。
- ・青森県内で行われている市街地再開発事業は比較的大規模な都市のみであり、上十三地域の市町村では事業は行われていない。

表 上十三地域の土地区画整理事業

都市名	地区名	施行者	面積 ha	施行年度	区域決定	事業認可
三沢市	三沢第一	市	143.7	S 28 ~ S 34	S 27. 6.23	S 27. 12. 8
	岡三沢第一	市	125.0	S 54 ~ H 18	S 52. 2.15	S 55. 2. 5
	中央町	市	3.9	H 14 ~ H 22	H 14. 3.20	H 15. 3.10
おいらせ町	中下田	組合	4.6	H 8 ~ H 10	H 8. 8.15	H 8. 11.27

(資料：平成20年都市計画年報)

表 青森県内の市街地再開発事業

都市名	名称	施行者	施行区域 面積(ha)	建築敷地 面積(m ²)	施行年度	決定年月日
八戸市	十三日町・十六日町地区第 1 種市街地再開発事業	再開発組合	約 0.8	約 5,600	S 53 ~ 55	S 52. 2.22
青森市	青森駅前第 1、第 2 地区第 1 種市街地再開発事業	再開発組合	約 1.6	約 11,500	S 62 ~ H 18	H 15. 2.20 (S 62.8.8)
弘前市	弘前駅前地区第 1 種市街地再開発事業	再開発組合	約 1.4	約 9,900	S 62 ~ H 7	S 63. 3. 3

(資料：平成20年都市計画年報)

農地の動向

- ・上十三地域の耕作放棄地は、全体で 478 千アールであり、青森県全体の約 3 割を占める。
- ・平成 12 年から平成 17 年までの 5 年間で、耕作放棄地は約 1.3 倍に増加しており、特に、七戸町、三沢市は 2 倍以上に増加している。
- ・農地転用件数は、僅かに減少傾向にあるが、平成 18 年度でも 700 件を超える農地転用が行われている。

表 上十三地域の耕作放棄地

	平成 17 年 (アール)	平成 12 年 (アール)	増減値
十和田市	45,750	47,920	1.0
三沢市	98,065	44,047	2.2
野辺地町	23,716	25,747	0.9
七戸町	62,573	24,441	2.6
六戸町	17,554	12,257	1.4
横浜町	37,172	33,253	1.1
東北町	67,287	78,554	0.9
六ヶ所村	78,302	58,348	1.3
おいらせ町	48,220	31,477	1.5
合計	478,639	356,044	1.3
青森県	1,458,986	1,231,535	1.2

(資料：平成17年 農林業センサス)

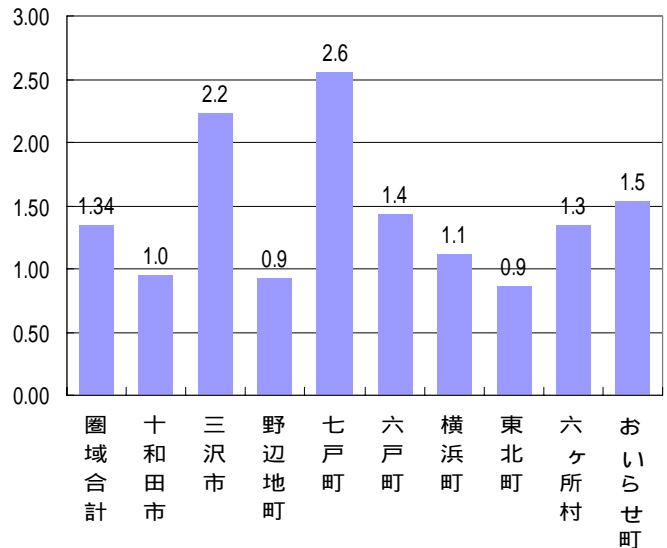


図 耕作放棄地の伸び率
(資料：平成17年農林業センサス)

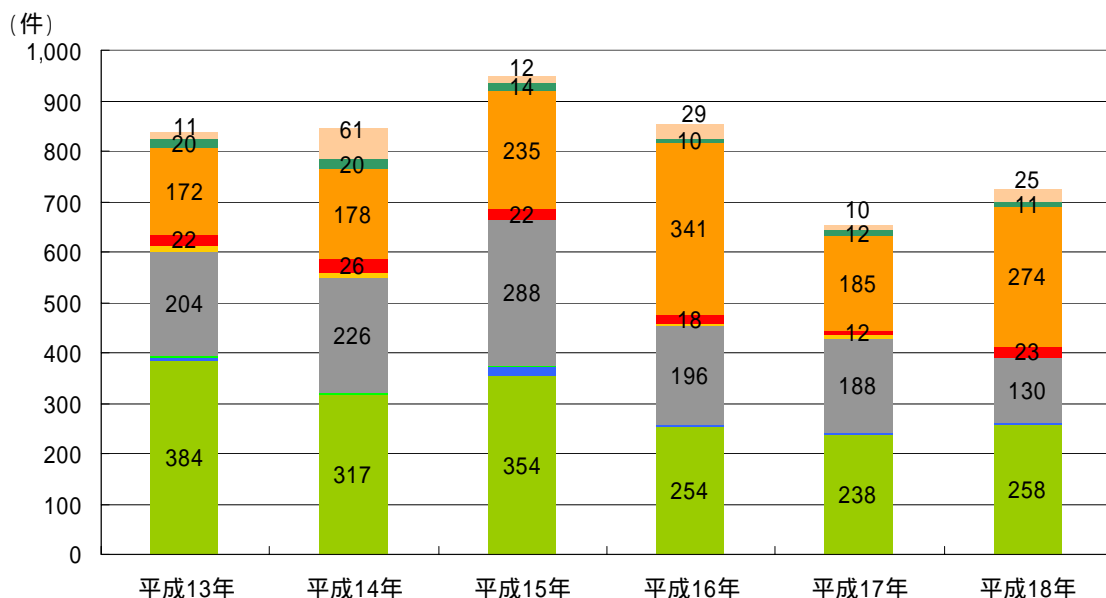


図 上十三地域の用途別農地転用件数の推移

(資料：土地管理情報収集分析調査)

3) 道路交通状況

交通網の整備状況

- 道路網では一般国道45号上北道路、下北半島縦貫道路有戸北バイパスが整備中となっている。
- さらに、東北新幹線が整備中であり七戸町に新幹線駅が整備される。
- また、すでに三沢市には三沢空港が整備されており、多様な高速交通網が整備されている地域となっている。



図 道路交通状況

コミュニティバスの運行状況

- ・上十三地域では、圏域を鉄道が縦断し、公共交通機関として広域的な移動を担っている。
- ・隣接市町村間をバス交通が連絡しているが、複数の市町村を連絡する広域的なバス網は整備されていない。
- ・また、5つの市町村内では、バス路線の廃止などを契機にコミュニティバスが整備され、住民の日常的な移動を担っている。

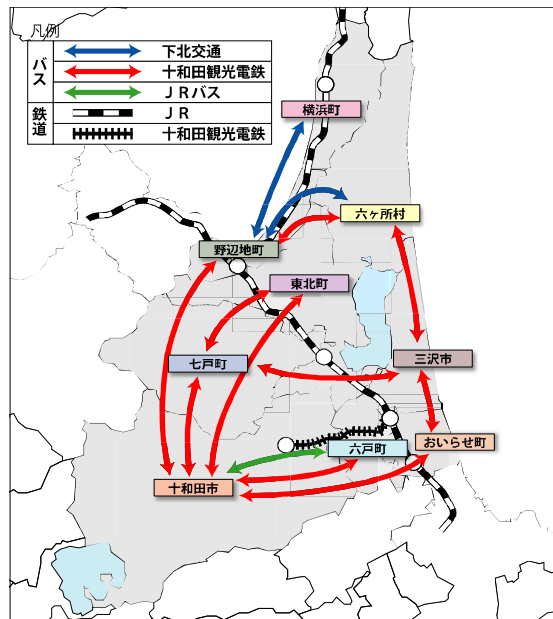


図 主な路線バス（資料：バス時刻表）

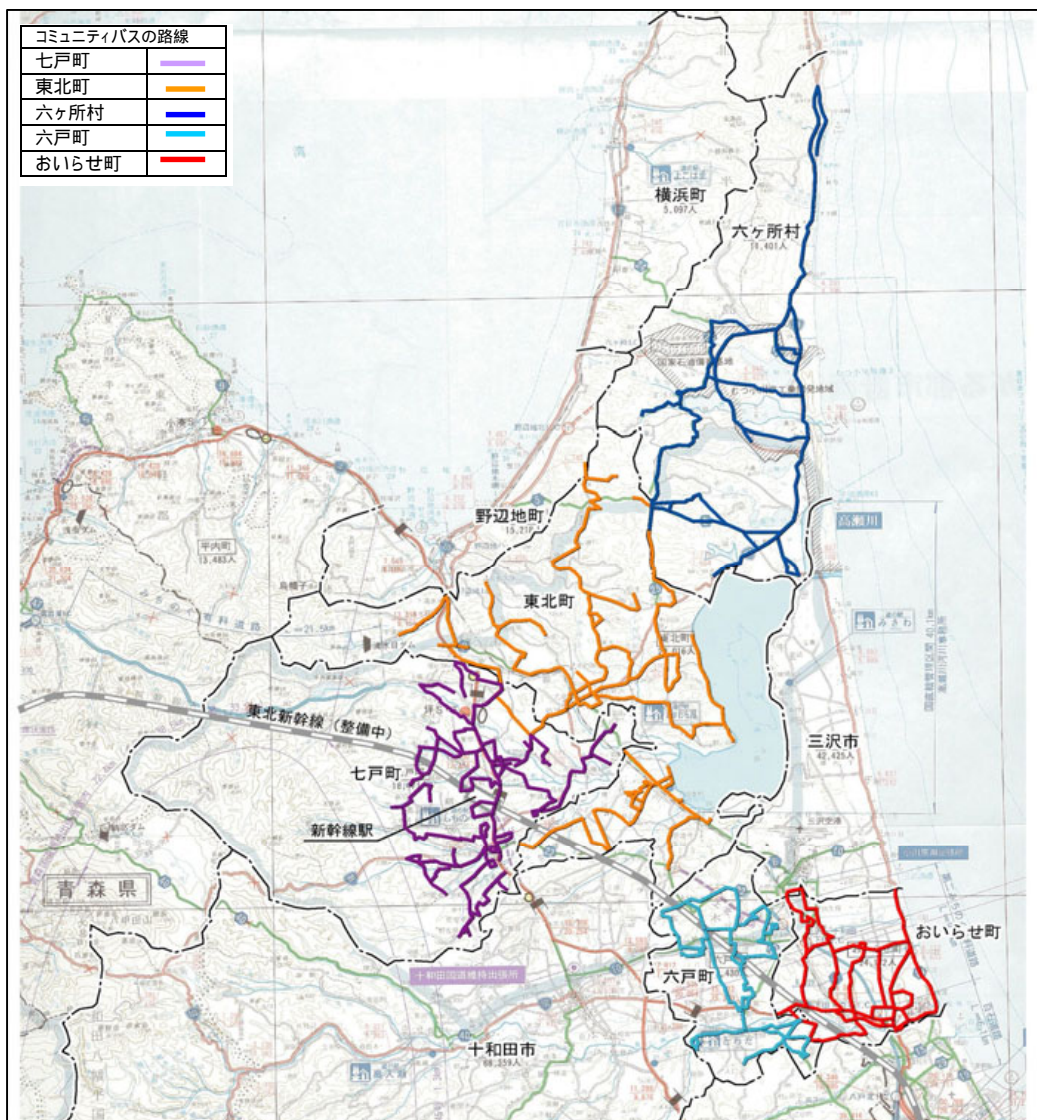


図 コミュニティバスの路線網（資料：各市町村）

4) 都市機能

商業施設の分布

- ・店舗面積が3000㎡以上の大規模な商業施設の分布をみると、ほとんどの店舗が、市街地縁辺部に立地しており、商業施設の郊外化が進んでいることが伺える。

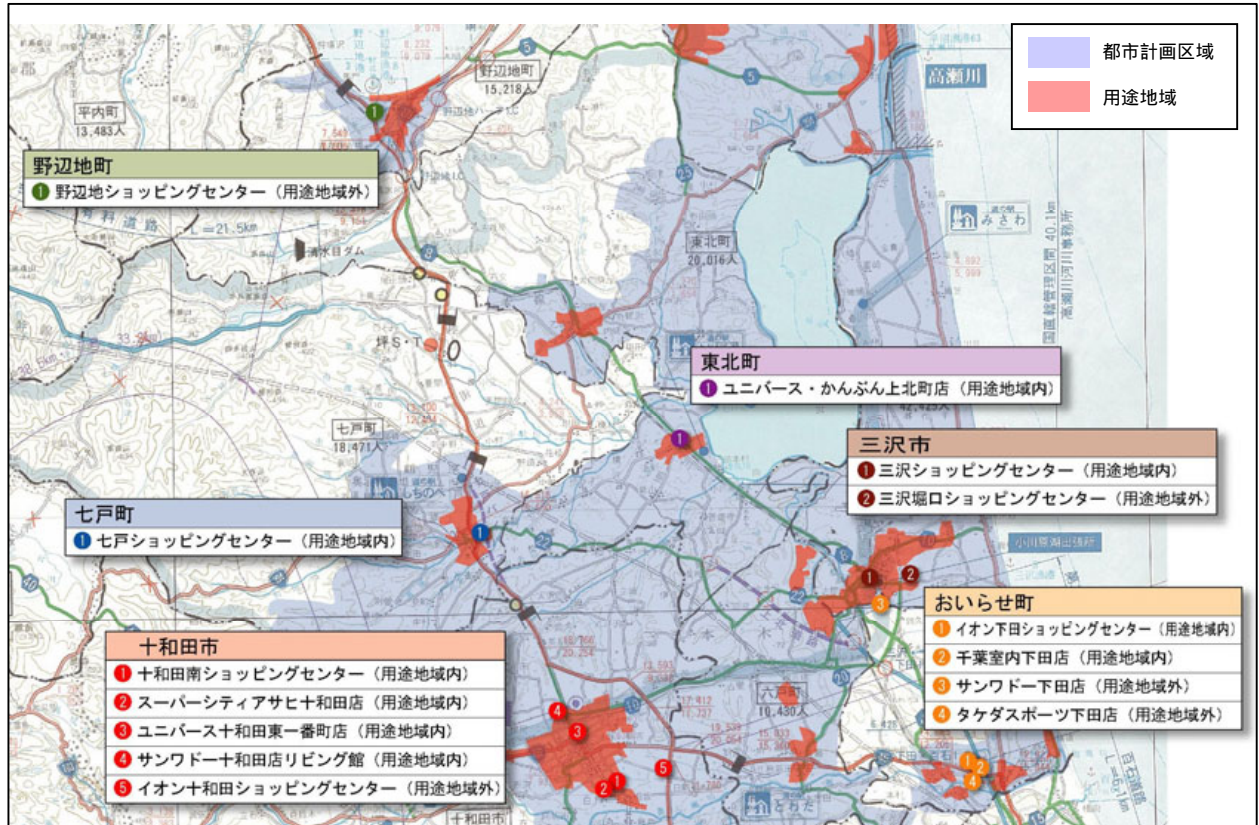


図 商業施設の分布

公共公益施設の分布

- ・十和田市、三沢市に主な公共施設等が立地し、圏域の中心都市としての役割を担っている。
- ・七戸町、野辺地町は、養護施設や裁判所など福祉、行政等の広域的な施設が立地し、圏域の広域的な機能を補完している。
- ・文化ホール、総合運動公園などの文化余暇施設はほとんどの市町村に立地している。

表 上十三地域の都市施設状況

		十和田市	三沢市	横浜町	六ヶ所村	野辺地町	東北町	七戸町	六戸町	おいらせ町
行政事務	県行政施設									
	裁判所									
	法務局									
	税務署									
	公共職業安定所									
	消防本部・警察署									
	ごみ処理場									
教育	高校									
	定時制高校									
	専門学校									
	大学									
	特別支援学校									
医療福祉	病院(自治体)									
	救急センター									
	保健所									
	養護施設									
商業	百貨店・SC									
	映画館									
余暇・文化	図書館									
	美術館									
	文化ホール									
	総合運動公園									

表 都市計画決定施設の状況

		十和田市	三沢市	横浜町	六ヶ所村	野辺地町	東北町	七戸町	六戸町	おいらせ町
都市計画決定施設	火葬場									
	市場									
	と畜場									
	汚物処理場									
	ごみ処理場									

都市計画決定され、都市計画上に位置づけられている都市施設

(資料：平成20年都市計画年報)

5) 市町村間流動等

市町村間流動

・十和田市、三沢市への通勤流動が多い。圏域北部では六ヶ所村へ流動

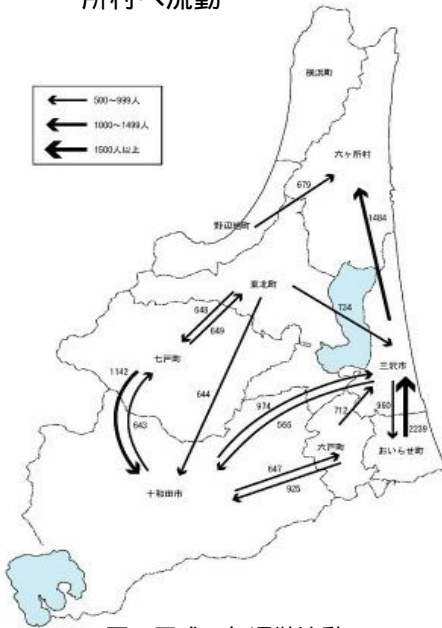


図 平成17年通勤流動
(資料：H17国勢調査)

・十和田市、三沢市への通学流動が多いが、高校立地等により外町村へも通学

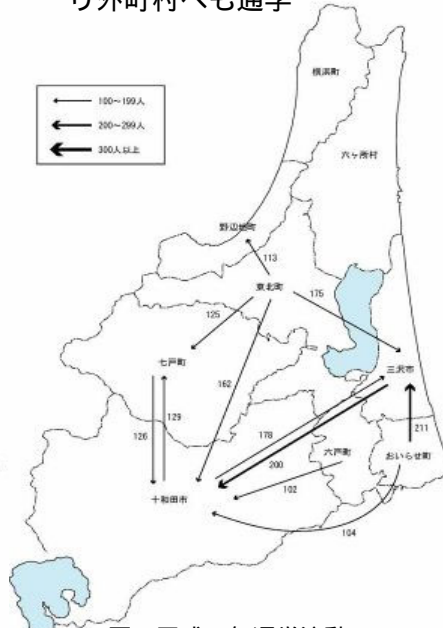


図 平成17年通学流動
(資料：H17国勢調査)

・十和田市と三沢市へ買物流動が集中

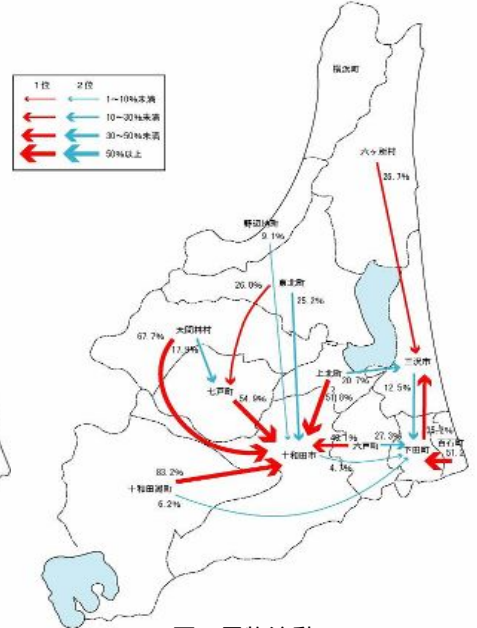


図 買物流動
(資料：消費購買動向調査)

広域行政機構の状況

上十三地域における主な広域行政機構の状況は以下の通りである。

表 主な広域行政機構

事務の種類	消防(3組合)			ごみ処理(3組合)			上水道(2組合)		し尿処理(3組合)		
	十和田地域	中広域上部	八戸圏	十和田地区環境	中広域上部	下行北地域広域	小川原湖広域	北広域上部	十和田地域	中広域上部	北広域上部
一部事務組合											
市町村名											
十和田市											
三沢市											
野辺地町											
七戸町											
おいらせ町											
六戸町											
横浜町											
東北町											
六ヶ所村											

は各組合等の行政機構に参加している市町村

(資料：平成18年度市町村事務要覧)

6) 地域特性の整理

地域特性

	地域の概要	特産物	観光資源・イベント等
十和田市	<ul style="list-style-type: none"> 十和田市は、国道4号、45号、102号が接続する交通の要衝地として、広域的な行政機能が集中し、圏域の中心都市としての役割を担っている。 市街地は、「碁盤の目」に整然と区画された「美しいまち並み」が特徴である。 十和田湖及び湖畔の自然資源や温泉・宿泊地は、圏域のみならず県内外を超える広域観光拠点としての機能を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 長芋 にんにく ねぎ 根みつば ツルムラサキ そら豆 寒じめ菜 クレソン ダチョウ 十和田湖和牛 	<ul style="list-style-type: none"> 新渡戸記念館 十和田市馬事公苑駒っこランド 奥入瀬溪流館 十和田湖温泉スキー場 道の駅奥入瀬「るまんパーク」 道の駅とわだ「とわだびあ」 鯉艸郷(りそうきょう) 旧笠石家住宅 津軽三味線観光会館
三沢市	<ul style="list-style-type: none"> 米軍三沢基地や飛行場の開設による国際色豊かな都市となっている。 太平洋や小川原湖に隣接する豊かな自然を有する。 三沢空港とJR三沢駅等を有しており、圏域における広域高速交通拠点としての機能を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長芋 馬鈴薯 いか さけ ほっき貝 豚、鶏 	<ul style="list-style-type: none"> 斗南藩記念観光村 太平洋無着陸横断飛行記念の碑 寺山修司記念館 仏沼 小川原湖キャンプ場 三沢市歴史民俗資料館 青森県立三沢航空科学館
野辺地町	<ul style="list-style-type: none"> 南部藩の商港として栄え、現在でも商工業が産業の中心となっている。 JR東北本線とJR大湊線ならびに国道4号と279号の結節点に位置し、青森市や十和田市、三沢市さらに下北半島を結ぶ古くから交通の要衝として、生活圏北部の中心的な役割を果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ホタテ ホタテ加工品 トゲクリガニ なまこ こかぶ 長芋 	<ul style="list-style-type: none"> 野辺地防雪林 国設野辺地まかど温泉スキー場 十符ヶ浦海水浴場 愛宕公園 烏帽子岳 野辺地町立歴史民俗資料館
七戸町	<ul style="list-style-type: none"> 南部藩の城下町として発展してきた七戸町は、歴史と文化を誇るとともに、恵まれた自然環境と歴史的文化的の集積した町である。 中部上北地域の中心として行政、教育、福祉等の広域的施設が集積し、十和田市・三沢市を補完する圏域の副拠点都市としての役割を担っている。 八甲田連峰で約6割を国有林が占める旧天間林村は、東西に流れる坪川沿いに水田や豊かな自然が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> 長芋 にんにく アビオス みよこ米 山の芋 地酒 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅しちのへ 鷹山宇一記念美術館 ローズカントリー 東八甲田家族旅行村 かたれ天間林 小坪川 坪川の白鳥
おいらせ町	<ul style="list-style-type: none"> これまで稲作や施設園芸などの農業の他、臨海部の工業団地への企業誘致や八戸市の北側に隣接するペットタウンとして発展しつつある。 国道45号や338号、第2みちのく有料道路などにより、広域交通の利便性が高い地域である。 夏季のヤマセによる冷涼と冬季の多日照を活用し、キャベツ・人参・大根を中心に、トルコギキョウ栽培農家育成を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鴨 長芋 ほっき貝 鮭 日本酒 苺・苺ジャム 	<ul style="list-style-type: none"> 氣比神社 カワヨグリーン牧場 日本一の自由の女神像 長寿日本一の根岸の大いちょう 二川目海浜公園 いちょう公園「ジョイハウス」 味祭館 大山将棋記念館
六戸町	<ul style="list-style-type: none"> 源を十和田湖に発する奥入瀬川の流域に位置する六戸町は、奥入瀬川流域の圏域の一翼を担っている。 流域には水田が広がり、米・野菜を主体とした農業を基幹産業とし、高生産性有機農業の確立を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> シャモロック 長芋 かぼちゃ にんにく 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅ろくのへ 館野公園 十和田国際カントリークラブ
横浜町	<ul style="list-style-type: none"> 下北半島の柄の部分に位置する横浜町は、南北に細長い形状の町であり、農業と漁業を基幹産業としている。 菜の花畑は日本一の作付面積を誇っており、「菜の花フェスティバル」が開催されている。 国道279号とJR大湊線が南北方向に通り、野辺地町とむつ市を結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 菜の花 なまこ ホタテ 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜町の獅子舞
東北町	<ul style="list-style-type: none"> 圏域のほぼ中央に位置する東北町は、野菜生産や酪農をはじめとする農業のまちとして発展した純農村地帯である。 旧上北町は概ね平坦な地形で、豊かな自然のもと農業を中心に発展を遂げている。 豊富に湧出する温泉群や小川原湖の自然資源を活用した観光・レクリエーションが盛んである。 	<ul style="list-style-type: none"> 長芋 にんにく はちみつ製品 紫黒米製品 わかさぎ・白魚 しじみ 	<ul style="list-style-type: none"> 小川原湖ふれあい村 清水目ダムオートキャンプ場 わかさぎ公園 小川原湖公園 みどりの大地とロマンの森公園 日本中央の碑歴史公園
六ヶ所村	<ul style="list-style-type: none"> むつ小川原開発の中心地であり、これらの進展にともなって国家石油備蓄基地や原燃料サイクル施設などが立地する。 その他は、農業と漁業を基幹産業とする地域である。 	<ul style="list-style-type: none"> 長芋 海草 鹿 	<ul style="list-style-type: none"> 文化交流プラザスワニー 六ヶ所村温泉 尾駈沼 物見崎灯台 滝の尻大滝

観光施設の分布

- ・上十三地域には、海・山・溪流・歴史など多くの観光資源が分布している。
- ・年間入り込み客数が10万人以上の観光施設を見ると、とわだびあ、七戸町文化村が最も観光客が多く、年間60万人を超える観光客を有している。

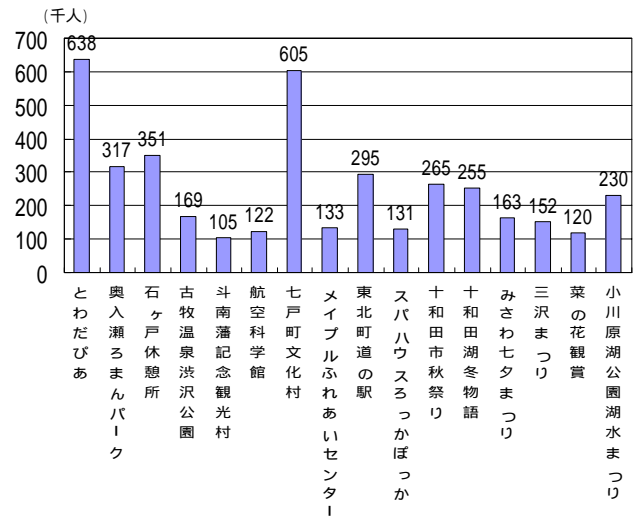


図 主な観光施設の入込み客数 (H19)
(入り込み客数 10 万人以上を図化)



図 主な観光施設の分布